

第20回

博物館文化祭

—ワーキンググループ活動展示・報告会・実演—

令和2年2月8日 (土)

2月24日 (月祝)

会場 平塚市博物館特別展示室

開館時間 午前9時～午後5時

(入館は午後4時30分まで)

休館日 2月10・17日 (月曜日)

入館料 無料

活動報告会

2月16日 (日) 午後1時～4時20分

会場 博物館講堂 参加自由

主催：平塚市博物館・第20回博物館文化祭実行委員会

特別展示室のレイアウトと展示タイトル

文化祭20回のあゆみ

東国史跡踏査団

古文書講読会

「三浦一族と源氏三代」「激動の文久3年―井沢家文書『見聞雑記』の世界―」

「石仏マップづくりの歩み」

石仏を調べる会

民俗探訪会

「千年余の歴史を誇る延喜式内社を訪ねて」

平塚学講座

「平塚学講座の紹介」

「2019年の天体観察会」

天体観察会

「トヒラの中の小さなヒラツカ」

展示解説ボランティアの会

「実験考古学
〜私たちグループが目指すもの〜」

古代生活実験室

「鎌倉地区H.C.（歴史探検隊）の
〜地域探訪活動の歩み〜」

地域探訪活動の歩み

展示に寄せられた質問にワーキンググループ会員がお答えします。

質問掲示板

目次

ごあいさつ.....2

開催に寄せて.....3

【参加ワーキンググループ紹介】

聞き書きの会.....4

古代生活実験室.....5

古文書講読会.....6

石仏を調べる会.....7

地球科学野外ゼミ.....8

展示解説ボランティアの会.....9

天体観察会.....10

東国史跡踏査団.....11

民俗探訪会.....12

平塚学講座.....13

博物館文化祭 20 回のあゆみ 14

年間会員制ワーキンググループ一覧... 16

表紙イラスト 岡部盛敏氏（民俗探訪会）

ごあいさつ

博物館文化祭は、平成 11 年に「博物館まつり」として始まり、今年で 20 回目を迎えることができました。

平塚市博物館は、市民とともに歩み、活動する博物館として開館以来高い評価を得ています。現在、民俗、考古、歴史、地質、生物から天文分野に至るまで、市民で構成される 17 のワーキンググループがさまざまな博物館活動を展開しています。今年度は、そのうち 10 のグループが活動の成果を発表します。

この文化祭は、地域博物館としての特色をいかし、担当学芸員の指導のもと、会員の創意工夫で実施するものです。展示や実演、活動報告会をご覧ください、興味を感じた活動がありましたら、ぜひ仲間に加わってください。

令和 2 年 2 月

第 20 回博物館文化祭実行委員会
委員長 露木正巳

開催に寄せて

街の魅力とは、どのようなものをいうのでしょうか？

日本中が今それを探し求め、あるいは生み出そうとしているに違いありません。けれども、いちばんの街の魅力といったら、そこに住む方々がにこにこいつも微笑んだり、朗かに語ったりしていることではないでしょうか。

たくさんのお金を得て贅沢をすれば、きっと楽しみが増えます。けれどもそれは、ふとした疑問をきっかけに文献を調べ、現地を歩いて観察し、ようやく答えをつかんだ喜びに、勝るほどのものなのでしょうか？

平塚市博物館がめざすのは、発見にガッツポーズする市民の方々の姿です。博物館文化祭は、日々それを求め活動する各会の、一步一步の記録です。そしてその成果が、また多くの市民のみなさんを潤すのです。

今年度も、実行委員の方々には開催にご尽力くださり、深く感謝申し上げます。

ご来場のみなさまも、おや？と思われる会がございましたら、ぜひ参加をご検討ください。そしてこの街を、知る喜びに満ちた豊かな地域にいたしましょう。

令和2年2月

平塚市博物館
館長 澤村 泰彦

【聞き書きの会】

【聞き書きの会】は、平塚に長くお住いの方から、思い出や、子どもの頃のお話を聞かせていただき、冊子にまとめ、次代へつなぐ活動をしています。

2014年4月に発足し、今までに聞き書き集『記憶をつないで』を3冊発行しています。現在、会員数は4名です。

平塚についてもっと知りたいと思っている皆さん！

年輩の方々からお話を伺うと、昔の平塚について学ぶことができます。一緒にお話を聞いてみませんか？



『記憶をつないで』博物館より発行
第1集 (2015年) 第2集 (2016年) 第3集 (2017年)

博物館文化祭の活動報告会では、「聞き書きから学んだこと」の題で、話者の方から学んだ様々なことをご紹介します。

- ★ 活動日：定例会・毎月1回 (第4金曜日 10時～12時)
博物館特別研究室
- ★ 会員募集：申し込みは平塚市博物館・浜野学芸員まで。

⌘ 古代生活実験室 ⌘

私たちは、遺跡から発掘された古代の道具を復元し、当時どのような作り方をしていたか、どのような使い方をしていたか、その効果は、どのようなものだったのか等を研究、体験する『**実験考古学**』のグループです。



縄文勝坂遺跡

あなたも古代人を体験してみませんか！

- ◎活動日 毎月一回 木曜日10時～15時
- ◎場所 博物館 科学教室
- ◎その他 『こどもフェスタ』にて『火起こし体験』
市内小学校で土器作り、野焼きのお手伝い
夏休み『縄文人になろう』体験学習他

新規会員募集中！

お問い合わせ：担当学芸員 **新宮・栗山** まで

古文書講読会

【活動内容】

古文書の原文書や複写を教材として活動しています。4グループに分かれ解読し、記録しています。特に原文書に触れるときは、文書を書いた人と同じ空気の中にいるような気がして歴史が一層身近なものになります。

原文書を直接利用できる機会はあまりありません。古文書講読会は貴重なものとなっています。

◎活動日 毎週金曜日 10:00～15:00

◎会員数 36名（男28名・女8名）

◎入会申込は博物館早田学芸員へ

【第20回博物館文化祭の展示】

激動の文久3年 —井沢家文書「見聞雑書」の世界—

- ・ 生麦事件の賠償金をめぐって
- ・ 「見聞雑書」に見る幕末武士階級の情報の世界
- ・ 和歌に込められた和宮降嫁の決心
- ・ 江戸の混乱

石仏を調べる会

市内には、路傍や神社・お寺の境内などに造立されている信仰を対象とした石造物は多数あり、これら先人の祈りの造形を訪ね歩き、後世に残すためにも調査・記録し、また、その成果物の出版等を行うため、昭和56年（1981）に活動を開始し、今年で38年を経過しました。当初の会員も少しずつ入れ替わりはありましたが、現在も再調査及び記録したものを出版物として残し伝承に努めています。

〔活動状況〕

- ・市内の石仏探訪の一助にと、「平塚の石仏めぐり」のマップを作成し、博物館ホームページに掲載（平塚宿編、須賀編、南金目編、四之宮・真土編、小鍋島・城所編の5エリアまで完成）。
- ・『平塚の庚申塔』冊子刊行に向け編集中。
- ・『平塚の石仏』再改訂版に向け調査実施中。
- ・市民対象の「石仏めぐり」を実施（令和元年10月には小鍋島・城所方面実施）。



〔会 員〕：16名（男性12名、女性4名）

〔活 動 日〕：毎月 第4木曜日 9：30 ~15：00（館内・野外）
（臨時に第2木曜日も開催）

〔入会募集〕：市内・市外問わず広く募集
（入会希望の方は担当学芸員 浜野まで）



地球科学 野外ゼミ

「地球科学野外ゼミ」は、2018年に発足した新しいグループです。大地をつくる地層・鉱物・岩石や、地形などを観察し、その生い立ちや、我々の生活とどのように関わっているのかを考えながら、野山を歩いています。

2019年度のテーマは「湘南の砂鉄」。湘南の海岸にみられる砂鉄の起源や、鉄に関連する遺跡、史跡などを巡って調べています。

定例会：野外観察会＋室内報告会
年12回（土曜ないし日曜日）
お問い合わせ：担当学芸員 野崎まで

展示解説ボランティアの会

ご挨拶

私たちは、博物館に来られた方々へ館内のご案内や展示品の解説を通して、来てよかった、面白かったと思っていただけるよう、さらに今後何度でも来ていただけるよう17名の会員一同今日もガンバッテいます。

私たちの会と博物館文化祭は、今から20年前の平成11年度に発足し、爾来毎回参加しています。今年は、パネル展示と実演（解説）で参加します。

今回の展示は、館に入ってすぐの「博物館ようこそ」のコーナーを対象に「トビラの中の小さなヒラツカ」と題して55枚あるトビラから10枚を選んで展示説明をしています。また、実際のコーナーではこの10枚を含め必要に応じすべてのトビラでの解説（実演）をします。



最後に、私たちの活動に興味を持たれた時は、いつでも遠慮なく近くの会員までお声をおかけください。

天体観察会



天体観察会は1983年に発足しました。会員は初心者からベテランまで、年齢層も中学生から70代まで約60名と多彩です。天文学芸員の指導のもと、星空や宇宙について調査や研究を行っています。

【2019年度の活動内容】

① 定例会

毎月の星空や天文情報の共有
博物館屋上での望遠鏡を使った星空観察



② 宿泊観察会

博物館での宿泊観測

③ 分科会

天文基礎・最新情報の学習
太陽や流星の観測と解析方法の追究



④ 星を見る会

博物館が開催する一般向けの観望会でのサポート など

会員の興味も様々です。ぼんやりと星座を眺めるのが好きな人、天体写真に挑戦する人、望遠鏡の操作を覚えたい人、みんなで楽しく語り合い、星を見ています。あなたも参加してみませんか。なお、活動のお問い合わせや入会の申込みは、天文担当の学芸員までお願いします。

東国史跡踏査団

相模国の歴史を中心に、新宮先生に時代背景や当時の世相について解説を受け、現地の史跡を実地踏査します。

その時代の主役と脇役達の夢と野望、繁栄と滅亡など往時に思いを馳せ、楽しく歴史を学び、現地の情報を集めます。

皆様の入会をお待ちしています。



活動内容

- 1) 月例会 1回/月 土曜日

博物館内での勉強会及び館外での現地踏査

＊館内での定例会：10：00～12：00

＊現地踏査：9：00～16：00

- 2) 平成29～30年度の踏査

「三浦氏の旧跡を訪ねる」

「源氏三代」

- 3) 連絡先 新宮学芸員

民俗探訪会

民俗とは“古くから民間に伝承されてきた風俗や習慣”のことです。民俗探訪会では現在、「延喜式内相模国十三社探訪」をテーマに、神社仏閣や路傍の石仏など民俗文化財の見学・調査を行っています。内容とコースは会員が事前に下見を行い設定し、訪問先では神職や神社役員など関係者から詳しい説明を受けています。現地で3年間学んだ成果を博物館文化祭で展示・発表します。



延喜式内社の石楯尾神社（藤野町）

— 最近の主な活動 —

① 相模国延喜式内社（※）の探訪（2017～2019）

※平安時代に朝廷から公認された由緒ある神社13社

② 大山道、糟屋道など古道の探訪（2015～2016）

③ 相模湾漁港・魚市場などの探訪（2009～2014）

[博物館子どもフェスタ] むかしの子ども遊び・生活体験などの参加協力

☆会員数 20名（男11、女9） ☆発足 1996年

☆活動日 毎月第三水曜日

時間 野外 10:00～16:00 館内 13:30～16:00

☆会員募集中 申し込みは浜野学芸員まで

平塚学講座

今年度も平塚学講座を開講しました。本講座は、平塚に住む人々が地域の主役として平塚のことを知り、地域について自ら考えるためのきっかけにする、という考えのもとで例年行っている、博物館主催の連続講座です。考古・民俗・歴史・生物・地質・天文の各分野ならではの視点から、平塚について多面的に学んでいただきました。

講座は全10回で構成され、8月末からほぼ毎週で実施しました。10月20日は学芸員とともに旭地区を歩いて回り、実際に歩くことで見えてくる地域の自然・文化・歴史の見方を学びました。講座の最終日には、平塚学講座で学んだ内容や興味を持ったテーマについてポスター発表を行い、修了しました。参加者は12名で、修了者は8名でした。

文化祭では、今年度の平塚学講座とポスター発表の内容について展示・発表します。



野外実習の様子

博物館文化祭 20 回のあゆみ

博物館を舞台に活動しているグループの活動成果を発表し合い、会員間とグループ間の交流を図るとともに、一般の来館者へ向けて博物館の多様な活動を紹介することを目的に、平成 12（2000）年に第 1 回博物館まつりが開催されました。平成 24 年の第 13 回から「博物館文化祭」に改称されました。休館で実施できなかった平成 30 年を除き、おおむね毎年 2 月に開催し、今年で通算第 20 回を迎えることができました。文化祭 20 回の歩みを写真やポスター、リーフレットの展示を通してふりかえります。

博物館まつり・博物館文化祭の参加実績（■展示、●発表・報告会、★実演での参加）

分野	ワーキンググループ名 (第1回～第10回)	回数・西暦									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
		2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009
考古	古代遺跡を探す会	■●	■	■●★	■ ★	■●★	■	■●★	■	■	■
	古代生活実験室							■ ★	■ ★	■ ★	
	東国史跡踏査団										
歴史	古文書講読会	■●	■●		■●		■●	■●		■●	
	裏打ちの会	■●	■	■ ★	■ ★	■ ★	■	■			
	平塚の空襲と戦災を記録する会	■●	■●	■●		■●	●	■●	■●	■●	■●★
	地域史研究ゼミ										
民俗	石仏を調べる会	■●	■●	■●	■●	■●	■●	■●	■●★	■●	■●
	民俗探訪会	■●	■●	■●	■●	■●	■●	■●	■●	■●	■●
	ろばたばなしの会			★							
	お囃子研究会									★	■ ★
	聞き書きの会										
地質	相模川の生い立ちを探る会	■●	■●	●	■●	■●		■●		■●	■●
	平塚地質調査会	■●						■●	★		
	地球科学野外ゼミ										
生物	漂着物を拾う会	■●	■●	■●	■●	■●★	■●★	■●★	■●★	■ ★	
	水辺の薬校生きもの調べる会				■●	■●	■●	■●	■●	■	■●
	神奈川キノコの会	■●		■●							
	植物誌調査会		■								
	湘南コケの会						■●				■ ★
天文	天体観察会	■●	■●	■●★	■●	■●★	■●	■●	■●★	■●★	■●★
	星まつりを調べる会						■	■	■●	■	■●
総合	展示解説ボランティアの会	■	■	■ ★	■ ★	■ ★	■	■	■ ★	■ ★	■●★
	平塚学講座										
合計	展示	12	11	9	10	10	11	12	10	12	12
	発表・報告会	11	7	8	7	8	8	9	7	6	8
	実演	0	0	5	3	5	1	2	6	5	6

博物館まつり・博物館文化祭の歩み

回	年	期間	実行委員長	特記事項
1	2000	2/8-2/13	(選出せず)	第1回博物館まつり
2	2001	2/9-2/18	(選出せず)	
3	2002	2/1-2/10	(選出せず)	実行委員会形式、開催ポスター募集始まる
4	2003	2/1-2/11	見田雄(展示解説ボランティアの会)	
5	2004	3/20-4/11	秋山正雄(古代遺跡を探す会)	
6	2005	3/31-4/5	小山明夫(民俗探訪会)	市民プラザで開催。図書館ミニ展示始まる
7	2006	3/18-4/2	江藤巖(平塚の空襲と戦災を記録する会)	
8	2007	2/10-2/24	新島明(天体観察会)	
9	2008	2/9-2/24	山中淳仁(古代生活実験室)	
10	2009	2/7-2/22	田村壽(星まつりを調べる会)	寄贈品コーナー「博物館まつり10年展」開催
11	2010	2/13-2/28	天羽輝彦(展示解説ボランティアの会)	「一サークル活動展示発表会」の副題を付す
12	2010	10/9-11/7	杉山喜一(平塚の空襲と戦災を記録する会)	秋期に開催
13	2012	2/4-2/19	妹尾親司(石仏を調べる会)	「博物館文化祭」に改称。相模原市博と交流会実施
14	2013	1/27-2/11	浅野克之(石仏を調べる会)	
15	2014	2/2-2/16	(選出せず)	
16	2015	2/1-2/15	(選出せず)	
17	2016	2/6-2/21	山形俊雄(石仏を調べる会)	質問掲示板を導入
18	2017	1/14-1/22	室織子(平塚の空襲と戦災を記録する会)	
19	2018	2/4-2/18	(選出せず)	
20	2020	2/8-2/24	露木正巳(古文書講読会)	

回数・西暦										ワーキンググループ名 (第11回～第20回)	分野
11	12	13	14	15	16	17	18	19	20		
2010	2010	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2020		
				■●		■	■			平塚の古代を学ぶ会	考古
■★	■★			■		■●★	■	■●	■●	古代生活実験室	
				■	■	■		■	■	東国史跡踏査団	
■●		■●		■●		■●		■●	■●	古文書講読会	歴史
										裏打ちの会	
■●★	■●	■●★	★	■●		●★	●★			平塚の空襲と戦災を記録する会	
	●									地域史研究ゼミ	民俗
■	■●★	■●	■●	■●	■●	■●	■●	■	■●	石仏を調べる会	
■●	■●	■●	■●	■●	■●	■●	■●★	■●	■●	民俗探訪会	
■★	■★	★		★	★	★	■★	★		ろばたばなし	民俗
						■●	■●	■	●	お囃子研究会	
										聞き書きの会	
	■●		■●		■		■			相模川の生い立ちを探る会	地質
	●									平塚地質調査会	
									■●	地球科学野外ゼミ	
										漂着物を拾う会	生物
■●	■●	■●								水辺の楽校生きもの調べの会	
■		■		■	■			■		神奈川キノコの会	
		■		■		■		■		植物誌調査会	天文
		■		■						湘南コケの会	
■●	■●	■●★	■●★	■●★	■●★	■●★	■●★	■●★	■●★	天体観察会	
■●	■●	■	■	■●	■		■			星まつりを調べる会	総合
■★	■	■	■	■★	■●★	■●	■●	■	■	展示解説ボランティアの会	
							■●	■●	■●	平塚学講座	
11	10	10	6	12	10	10	11	11	9	展示	合計
6	9	6	4	7	5	8	6	5	8	発表・報告会	
4	3	3	1	3	3	4	4	2	1	実演	

博物館の年間会員制ワーキンググループ

☆平塚市博物館では、いろいろなテーマで、さまざまな行事を行っています。

1年を通して、ともに学び、調べ、考え、活動される多くの皆様方のご参加をお待ちしています。

生き物ズームプロジェクト

「野外で気軽にディープな観察を楽しむ」をテーマにした調査研究会です。最終的にはガイドブックの作成を目標にしています。

裏打ちの会

館所蔵の資料の保存を目的とした「文書の裏打ち」作業を行います。

お囃子研究会

祭ばやしの調査や楽曲を聴き比べ、笛や太鼓の演奏を通して体験的に祭ばやしを学習します。館内外のイベントで市内に伝わる囃子太鼓を演奏します。令和2年度から「祭りばやし研究会」に改称予定です。

聞き書きの会

市内に長くお住いの方から、地域のかつての暮らしの様子を聞き取り、これを記録し、聞き書き集「記憶をつないで」にまとめます。

古代生活実験室

遺跡からはたくさんの土器・石器などが出土します。それらの用途や機能を再現して、古代人の知恵を学ぶ会です。きっと、新たな発見や驚きがあると思います。こどもたちの参加をまっています。

古文書講読会

館が所蔵する近世の地方文書をテキストに、近世文書の読み方の練習やその時代背景について考察する会です。

石仏を調べる会

平塚市内の信仰目的で建てられた石造物を調べて記録し、地域の庶民信仰を研究、普及する会です。

地域史研究ゼミ

共通史料講読によるグループ研究（ゼミ方式）を通じて、主体的に歴史研究をおこなう力を養います。

地球科学野外ゼミ

相模川流域の大地の成り立ちを野外で観察することを目的として、2018年度から活動している地学ハイキングの会です。

展示解説ボランティアの会

展示を見学に来た団体に個人に解説を行なうべくボランティアの会です。学芸員による研修後、週1回の当番日に解説していただきます。

天体観察会

望遠鏡の使い方を実習したり、天体写真の撮り方を学んだり、「星を見る会」の一步先に進みたい人たちが集まって勉強する会です。天文学の勉強会もあります。

東国史跡踏査団

平塚市内外の地域を選んで、現在の地図と明治時代の地図を比較しながら歩き、遺跡の立地や環境を体感します。

平塚の空襲と戦災を記録する会

平塚の戦時下及び平塚空襲に関する資料の収集、戦争及び空襲体験を中心とした聞き取り調査、市内戦災地図の作成、空襲による犠牲者の検証などを中心に活動しています。

平塚の古代を学ぶ会

平塚には数多くの遺跡があります。発掘された遺跡の調査報告書を輪読したり、遺物採集や見学会をとおして、平塚の古代を会員とともに勉強する会です。現在は、相模国庁脇殿の模型制作をすすめています。

民俗探訪会

野外を歩いて市内および周辺地域の民俗文化を調べ学ぶ会です。令和2年度は、古地形図を元に野外を歩き、地形と土地利用、暮らしとの関わりを見つめる予定です。

申込方法（各会共通）

- 令和2年度の募集は「あなたと博物館」3月号、広報ひらつか3月第3金曜日発行の案内をご覧ください。
- 各会の活動内容は、博物館のホームページ (<http://www.hirahaku.jp>) をご覧いただくか、お問い合わせください (TEL 0463-33-5111)。
- 往復はがきに住所、氏名、年齢、電話番号と希望する会の名称を記入し、平塚市博物館 (〒254-0041 平塚市浅間町 12-41) へお申込みください。
- お手数ですが、一ワーキンググループにつき一通でお申し込み下さい。

平塚市博物館を拠点に活動する外部ワーキンググループ

- ・ 神奈川キノコの会
- ・ 神奈川県植物誌調査会湘南ブロック
参加希望の方は博物館へお問い合わせください。

第20回 博物館文化祭 実行委員会

委員長	露木正巳	古文書講読会
副委員長	井出準二	石仏を調べる会
委員	天羽輝彦	展示解説ボランティアの会
	岡澤智	天体観察会
	小林隆	天体観察会
	柴垣吉宏	民俗探訪会
	清水紘司	天体観察会
	杉園佐智子	聞き書きの会
	棚橋光男	民俗探訪会
	内藤秀貴	地球科学野外ゼミ
	長坂紀子	聞き書きの会
	森谷幸一	古代生活実験室
	遊佐定夫	展示解説ボランティアの会
	渡邊千秋	民俗探訪会

事務局 浜野達也 博物館学芸担当

第20回博物館文化祭

ーワーキンググループ活動展示・報告会・実演ーリーフレット

展示：令和2年2月8日（土）～2月24日（月・祝）

編集：第20回博物館文化祭実行委員会

発行：平塚市博物館

印刷：平塚市役所印刷室

令和2年（2020年）2月8日

平塚市博物館

〒254-0041 神奈川県平塚市浅間町12-41

TEL 0463-33-5111 <http://www.hirahaku.jp>

実演 イベント

天体観察会 **太陽黒点を見よう**

望遠鏡で太陽を投影し、黒点を観察します。

2月16日(日) 午前10時～12時(曇雨天時中止)

場所：屋上 参加：自由

活動 報告会

2月16日(日)午後1時～(開場は午後12時30分)

各ワーキンググループの日ごろの活動成果を発表します。

会場：講堂 参加：自由

13:00	開会あいさつ	文化祭実行委員長	露木 正巳
13:05	『見聞雑書』に見る激動の文久3年 外交文書や御触書など公式な文書から虚々実々の風聞まで、激動の文久3年を記録した「見聞雑書」を紹介。	古文書講読会	露木 正巳
13:25	地球科学野外ゼミに参加してみよう ／活動紹介 地球科学野外ゼミに参加した動機や活動内容について発表します。	地球科学野外ゼミ	村田 文子 他
13:45	聞き書きから学んだこと 中原にお住まいのご夫婦とともに90歳代です。お二人から学んだことや驚いたことをご紹介します。	聞き書きの会	杉園佐智子
14:05	相模国延喜式内社を訪ねて 3年間の探訪の成果を基に、さまざまな視点から十三社を考えてみます。	民俗探訪会	平尾 正之
14:30	休憩		
14:45	城所の石仏 貴船神社の二十三夜塔と牛像、浄心寺境内の六観音や子育て地藏などを紹介します。	石仏を調べる会	関根 武 浅野 克之 妹尾 親司
15:10	採集した土器破片の整理 実験考古学体験学習の一環として表面採集した土器破片の整理作業について報告します。	古代生活実験室	澤井 健二
15:30	平塚学講座の紹介	平塚学講座	受講 生
15:50	定年から始めた僕らの流星観測 一流星分科会の2019年ペルセウス流星群観測報告 流星分科会で作成した流星用TVカメラを会員の自宅に設置して流星の軌道観測をしています。夏のペルセウス座流星群の観測結果を報告します。	天体観察会	永井 和男
16:15	閉会あいさつ	博物館長	澤村 泰彦